

# 街なかの 下水道 @こまえ

## 6月は浸水対策強化月間 浸水ゼロ・安全・快適! 下水道

～みんなで備えて、浸水からまちを守ろう!～

### 下水道管は汚水だけでなく雨水も流しています



下水道には、道路や宅地に降った雨をすみやかに下水道管に流して、浸水から街を守る役割があります。

道路の端に設置されている「雨水ます」が下水道への入口になります。「雨水ます」にゴミを入れたり、上に物を置いたりすると、雨水が下水道管へ流れ込まず浸水を引き起こす危険性が高くなります!



物を置かない ゴミを入れない

### 「浸水の備え」をお願いします



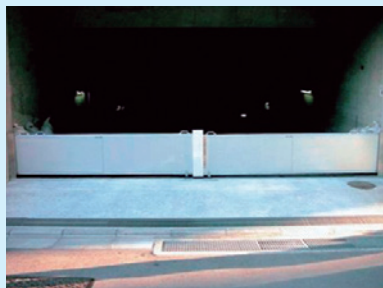
土のう設置

豪雨時には、雨水ますに入らなかった雨が、道路から流れ込み、浸水を引き起こす恐れがあります。

「土のう」や「止水板」等により、浸水を軽減することができます。

「土のう」は市内2箇所の「土のうステーション」から自由に持ち出すことができます。場所は第一地区消防隊器具置場(中和泉四丁目16番)と供養塚児童公園(駒井町三丁目3番)です。

「止水板」等については設置費用に対する助成制度があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。



長い板を使った止水板

#### 土のうステーション



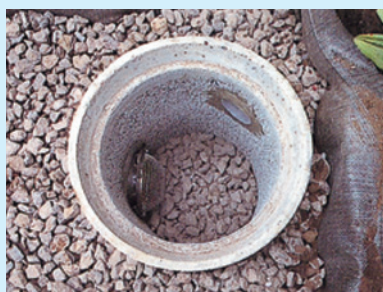
〈外観〉



〈内部〉



### 雨水浸透施設の設置をお願いします



〈雨水浸透ます〉  
(穴を開けた雨水ますの周りに砕石を充填するなどして雨水を地中に浸透させるますです。)

都市化が進み、地中に浸透する雨水の量が減少しています。雨水浸透施設は、屋根に降った雨を地中に浸透させるもので、下水道管に流入する雨水を減らし、浸水被害を軽減することができるものです。

「雨水浸透ます」の設置費用に対する助成制度があります。既存住宅に関しても助成が可能です。詳しくは市ホームページをご覧ください。



### ハザードマップ

大規模な浸水が予想される際は身を守る行動が必要です。想定される浸水深は粕江市防災ガイドに洪水ハザードマップとして掲載されています。また、河川からの洪水ではなく、下水道管等の能力を超える降雨で発生する内水による浸水被害を想定した内水ハザードマップを6月下旬より各家庭へ配布を始める予定です。

避難の必要性の判断や日頃の備えに使用してください。



事前の準備をお願いします。

